

個人健康情報保護

本通知書は、患者様の個人健康情報がどのように使用され開示されるか、また患者様がどのようにこの情報にアクセスできるのかを記述しています。よくお読みになり理解してください。

当院は、患者様の健康に関する情報の保護が重要であると考えております。

当院の法律上の義務

当院は、米国連邦法および州法により、患者様個人の健康情報を保護することが義務付けられています。また当院には、患者様の個人健康情報保護に関する当院の個人情報保護、法律上の義務、患者様の個人健康情報に対する患者の権利について記載する本通知書を提供することが義務付けられています。当院は、本通知書が有効である限り、ここに記述されている個人健康情報保護に従う必要があります。この通知は 2003 年 4 月 14 日付けで有効になっており、改定されるまで有効です。

当院は、個人健康情報保護および本通知書の内容を、適用される法律によって許可される場合、随時変更する権利を有しています。当院は、当院が維持管理するすべての個人健康情報に対し、その保護の実施および通知の条件を変更する権利を有しています。これらの個人健康情報には変更前に作成または受け取った個人健康情報が含まれます。当院による個人情報保護の方法を大きく変更する前には、要請に応じて本通知書を変更し、配布します。

個人情報の使用と開示

当院は患者様に医療行為を行う場合、個人健康情報を使用し開示します。以下に例を示します。

治療: 患者様の健康情報を、患者様を治療する医師や他のヘルスケア提供者が利用できるように開示する場合があります。

支払: 患者様に提供したサービスに対する支払いを受けるために、患者様の健康情報を使用または開示する場合があります。

ヘルスケア実施: 当院が実施するヘルスケアに関連して患者様の個人健康情報を使用・開示する場合があります。実施するヘルスケアには、品質評価および改善活動が含まれ、医療専門家の能力や資格の検討、医療関係者や提供者の評価、トレーニング、認可、認定、ライセンス付与、資格認定活動の実施が含まれます。

患者様の許可: 患者様への医療行為、支払、ヘルスケア実施のための個人健康情報の使用・開示に加え、患者様は、目的・相手先を問わず書面によって当院がその個人健康情報を開示することを許可することができます。患者様が許可した場合であっても、患者様による許可は書面をもって随時撤回することができます。ただし、開示・使用の許可が有効であった間の個人健康情報使用・開示は許可撤回後も影響を受けません。患者様の書面による許可がない限り、本通知書に記述されている内容以外の理由では、当院は患者様の個人情報を使用・開示することはできません。

患者様のご家族および知人への開示: 当院では本通知書の「患者様の権利」の項目に従い、患者様に健康情報を開示する必要があります。患者様への医療の提供または医療行為に対する支払いに必要な場合、ご自身が許可する場合に限り、患者様の個人健康情報を患者様のご家族や知人などに健康情報を開示することがあります。

ケア従事者: 当院は患者様の個人健康情報を使用・開示して、患者様、患者様のケアに責任を有する患者様のご家族、知人、または遺産管理人やその他の方に、患者様の居場所、様態、死亡などの情報を通知したり、また、通知に役立てる場合があります（これにはご家族、知人などの居場所の特定を含みます）。患者様が存在する場合は、患者様の個人健康情報の使用・開示前に、このような使用または開示に対して拒否する機会を患者様に提供します。緊急時や患者様に同意能力が認められない場合は、当院の専門家としての判断に従い、患者様のヘルスケア従事者に直接関連する健康情報のみを開示します。また、当院は、一般的な慣習について専門家の判断および経験を活用し、患者様の最善の利益になるように、第三者に対して記載済み処方箋、医薬品、X線写真などの健康情報を取り寄せることを許可する場合があります。

医療サービスのマーケティング: 当院は、患者様の書面による許可がない限り、患者様の個人健康情報を広告などの目的には使用しません。

法律上の要件: 法律により要求される場合は、患者様の個人健康情報を使用・開示することがあります。

虐待または遺棄: 患者様が虐待あるいは遺棄、家庭内暴力、その他の犯罪の犠牲者であると認められる妥当な理由がある場合は、当院は、関連当局に患者様の個人健康情報を開示することがあります。患者様の健康や安全あるいは他の方の健康や安全が脅かされるのを回避するために必要な場合に限り、個人健康情報を開示することがあります。

国家安全: 当院は場合により、軍事関係者の健康情報を軍当局に開示することがあります。当院は、法定の情報機関、対情報活動、その他の国家安全活動から要求される健康情報を、許可された連邦政府当局者に開示することがあります。受刑者あるいは特定の環境下の患者様の保護された健康情報を、法的に管理する権利がある矯正施設または法執行機関に開示することがあります。

予約確認予約確認機能: 当院は、予約確認時に患者様の個人健康情報を使用・開示することがあります（ボイスメールによるメッセージ、葉書、書簡などの手段がこれに該当します）。

患者様の権利

情報の入手: 例外を除き、患者様はその個人健康情報を閲覧またはコピーを入手する権利を有します。患者様は、写真複写以外の形式でコピーを要請できます。当院が実際に作成できない場合を除き、患者様から要請された形式を使用します（患者様は書面をもって、自身の個人健康情報を要請する必要があります。本通知書の最後に記載された連絡先から要請に必要な書式を入手できます。当院は、コピーやスタッフが費やした時間などの経費を実費で申し受けることがあります。本通知書の最後に記載された連絡住所に書簡で情報入手を要請することもできます。コピーを希望される場合は、1 ページにつき 1 ドル、郵送を希望される場合はその送料を申し受けますが、当院スタッフによる情報の検索およびコピーに要する時間は無料です。別形式の形式を希望される場合は、その形式で提供するために費やした実費を申し受けます。ご希望に応じて、個人健康情報の概要あるいは説明を有料で作成します。諸経費についての詳細は本通知書の最後に記載された住所に連絡してください）。

開示説明: 患者様は、当院が 2003 年 4 月 14 日以後の 6 年間に、医療行為その他の活動以外の目的で患者様の個人健康情報を開示した事例のリストを入手できます。患者様が 12 ヶ月間で 2 回以上開示説明を要請した場合は、追加要請に対する実費を申し受けることがあります。

制限: 患者様は、当院による患者様の個人健康情報の使用・開示を制限する権利を有します。当院は追加制限に同意する必要はありませんが、同意した場合は合意を遵守します（ただし緊急時は除外します）。

別形式の情報伝達: 患者様は、当院が患者様の個人健康情報を別の手段または別の場所に伝達するよう求めることができます。その要請は書面をもって行う必要があります。要請には、具体的な手段や場所を指定し、要請された手段や場所で支払いがどう取り扱われるのかの十分な説明が必要です。

修正: 患者様は、当院が患者様の個人健康情報を修正するよう求める権利を有します（そのような要請は書面により、修正理由を説明する必要があります）。場合によっては、当院は修正要請を拒否することがあります。

電子通知: 患者様がこの通知を当院ホームページまたは電子メール（Eメール）で受理した場合は、文書により本通知書を受け取る権利があります。